

# 天文教育

2013 3

*Japanese Society for Education and Popularization of Astronomy*



<年間特集> 彗星

<連載> 私の自慢の天文の会／京都千年天文学街道ツアー  
宇宙を観じる生活を！

天文教育普及研究会

## 本誌原稿募集のお知らせ

編集部では下記の原稿を募集しております。会員の皆様からの活発なご投稿をお待ちしております。

1. **原著論文**：天文学教育・普及について、オリジナル性があり考察が優れ、学術論文として主な内容が印刷発表されていないもの。表題、アブストラクトには英文も付けてください。
2. **解説記事**：天文学や天文教育・普及に関する解説・紹介記事。分量は刷り上がりで6~10ページ程度。
3. **各種の報告など**：支部会やワーキンググループの活動報告、各種のイベントの報告、また天文教育・普及に関する授業の実践例など。分量は刷り上がりで2~4ページ程度。
4. **書評**：天文学や天文教育・普及に関する書籍の紹介。分量は刷り上がりで1ページ程度。
5. **会員の声**：会員の皆様からのご意見・ご感想など。分量は刷り上がりで1ページ程度。
6. **表紙の写真**：タイトルと400字以内の「表紙の言葉」とともにご投稿ください(写真のみでも構いません)。
7. **情報コーナー(各種会合・イベントの告知など)**：支部会やワーキンググループの会合、また天文学に関する各種の会合・イベントなどの情報。分量は任意ですが、スペースの関係で適宜省略させていただく場合があります。会合・イベントの開催日と会誌の発行日(奇数月下旬)にご留意ください。

・**締め切り**は1~3は原則として奇数月末日、4~7は偶数月15日。投稿先は [post@tenkyo.net](mailto:post@tenkyo.net) です。

・**広告掲載**を希望される方は事務局 ([jimu@tenkyo.net](mailto:jimu@tenkyo.net)) までお申込みください。掲載料はB5判1ページ ¥20,000-、半ページ ¥12,000-、1/4ページ ¥7,000-、チラシの折り込み ¥20,000-です。

本誌に掲載された記事は、1年後以降に当会ホームページ (<http://tenkyo.net/>) にてpdfファイルの形で一般に公開することを予定しております。インターネットでの公開に差し障りのある場合はご投稿の際にその旨ご連絡ください。

### 【編集委員会からのお願い】

『天文教育』の編集は、すべて会員からなる編集委員によって行なわれています。ご投稿の際には以下の点についてご協力いただけますよう宜しくお願いいたします。

- ・原稿の投稿は、原則としてMicrosoft Wordファイルでお願いします。
- ・執筆用のテンプレートがホームページ (<http://tenkyo.net/>) からダウンロードできます。できるだけこのテンプレートをご利用くださるようお願いいたします(執筆上の留意点なども記しています)。
- ・十分に推敲を重ねた完全原稿でご提出ください。分量や内容によっては手直しいただく場合もあります。
- ・提出データは必ず各自でバックアップしておいてください。
- ・Word以外に一太郎ファイルやテキストファイルでも受け付けております。
- ・原稿のご投稿やご質問は電子メールにて、下記のアドレスへお願いいたします。

投稿先・質問先 メールアドレス：[post@tenkyo.net](mailto:post@tenkyo.net)

## 表紙の言葉

### 日本から見え始めたパンスターズ彗星(C/2011 L4)

撮影日時:2013年3月12日18時48分  
高橋 ε 160(D=160mm, f=530mm)F=3.3, 直焦点、  
Canon EOS 5DMarkIII, ISO 2500, 露出 1/2 秒  
撮影地:長野県上田市菅平(標高 1600m 地点)

パンスターズ彗星(C/2011 L4)が、南半球の空から北半球の空にまわってきた。近日点の3月10日前は、南半球の夕方空に見えていた。1月までの光度変化から、「大彗星」の予想から、最大等級が2等星前後と大幅に下方修正された。しかし、その後、南半球の観測者から、ダストとイオ

ンテールの引いた立派な彗星の姿が報告され、日本からの姿に期待していた。日本での最初の報告は3月8日、その後、全国的に天候が良かった3月11日には、全国各地で観測された。私自身も、この11日が初顔合わせ。低空のあかね色に染まった空の中、きらきらと光る「核」を見て、真昼間に見たマックノート彗星のイメージを思い出した。この写真は、翌日の夕暮れの露出1/2秒の写真である。低空の薄雲に阻まれて、すばらしい彗星の姿はまだ見せないが、1等星より明るく輝く「核」が北アルプス(蓮華岳・針ノ木岳)に没していた。

撮影と文：大西浩次